

『ナーシングエイド研修』

研修会実施報告

日時 : ①令和3年6月15日(火) 13:00~17:00
②令和3年6月29日(火) 13:00~17:00

対象者 : ナーシングエイド

参加者数 : 38名 ①19名 ②19名

目的 : 看護師の補助業務としてのナーシングエイドの役割を理解し、業務を円滑安全に行うことができる

<講師の紹介>

4B病棟 看護師長

2A病棟 看護師



<内容>



ナーシングエイド全員を対象に2回に分けて研修を行いました。T師長から「ナーシングエイドの基本姿勢と態度」について話しをして頂いた後、I看護師に摂食・嚥下について講義をして頂きました。まず、口から食べることには、生理的意義や精神的意義、社会的意義があり、とても大切なことであることを話して下さいました。嚥下が悪くなる原因には、器質的障害、機能的障害、心因的障害など様々あることを、動画を入れながら説明して頂きました。日頃の患者さんの様子を観察することが大切だと

思いました。患者さんに食事を安全に美味しく食べて頂くための方法として、食具の選択、食べる姿勢、介助者の位置、ひと口の分量、とろみのつけ方など、実演をまじえながら具体的に説明して頂きました。窒息時の対応や口腔ケアについてもわかりやすく講義をして頂き、理解が深まりました。食事は患者さんが楽しみにされている時間です。今回の研修で学んだ摂食嚥下のメカにイズムを意識して、患者さんが食べることを看護師と共に支援していきたいと思います。ナーシングエイドは患者さんの身の回りの世話をすることが多いです。今回の研修で学んだことをいかして、これからも患者に寄り添い心のこもった援助を行っていききたいと思います。